



CITY WATCHING



新春恒例の駅伝今年も

元旦恒例のニューイヤー駅伝が、今年も本市を発着点に開催。日本のトップ選手たちが熱いレースを繰り広げました。大会を制したのは旭化成。4連覇を果たしました。また、公田町の中継点では多くの観戦者がtonton汁で体を温めながら、声援を送りました。



太陽の鐘で年越し祝う

12月31日、広瀬川河畔の太陽の鐘で年越しの鐘つきを開催しました。昨年に続き2回目の開催となった今回は、鐘のライトアップも実施。多くの人が鐘つきと共に写真撮影を楽しんでいました。年越しの瞬間はみんなでカウントダウン。にぎやかに新年を迎えました。



サンダース勝利へ声援

群馬クレインサンダースでは初となる本市冠試合を、1月4日と5日に開催。特別席への子ども招待やプレゼント企画の他、市内小学生チームのエキシビジョンマッチなどで盛り上がりました。2日間合わせて約2,000人の来場者が、勝利に向けて大きな声援を送りました。



GIAで最高賞を受賞
中澤陽さん・17歳
富士見町小暮

描いたプラン、実現に向けて

起業家や起業を目指す人などが、独自の事業プランをプレゼンテーションする群馬イノベーションアワード（GIA）。既に事業を展開する起業家たちも出場する中、中澤さんは高校生ながら最高賞の大賞を受賞した。中澤さんが発表したプランは、養豚業で多くの子豚が母豚による圧死をしようとする状況を、ICTを活用して防ぐというもの。

「大会終了後、審査員にアドバイスを聞きに行くともっと客観的な数字を集めた方がいいと言われて。今回はJAに何度も行くなどしてデータを集めるようにしました」
起業に興味を持ち、中学生の頃から起業家のコミュニティに参加するなど積極的な活動を行ってきた。



富士見の伝統野菜、時沢大根作りの手伝いを頑張っています。

「プレゼンの練習はその仲間たちに見てもらいました。本番も知り合いが多かったので、緊張はなかったですね」
今回発表したプランは1年半後の製品化・販売を目標としている。中澤さんの活動に賛同したJAや農家の協力を得て、挑戦は続いていく。



暮らし課
027・898・6510



時沢大根は漬物にするとそのおいさをより感じられる品種の大根です。干して、空風に吹かれることでおいしい漬物ができます。

地域おこし協力隊になって2年半が過ぎ、任期満了まであと半年となりました。あつという間です。週末になるとおいしい農産物を求めオートバイで訪れていた群馬県ですが、前橋で生活をすることで、旅では気付けなかった魅力を感じました。また、地域の皆さんと一緒に地域活動をする中で、そこにしかないモノコトを見つけました。ここでは当たり前の日常が、私にとっては目からうろこの連続でした。これらがこの地域の強みであり、地域おこしの武器になると思いますが、前橋オリジナルの地域おこしとは？を考えながら、自分の前橋定住も考えていきたいです。まずは、ここにしかない伝統野菜、時沢大根を武器に。